

令和6年度 長沼小学校だより

せせらぎ

真岡市立長沼小学校



＜教育目標＞
よく考える子
心豊かな子
明るく元気な子



「心の中の鬼」を退治する

早いもので2月に入りました。毎朝の通勤時、久下田を抜けて青田地区に差しかかると、南西の方向に真っ白い富士山がどーん！と現れ、その神々しい姿に背筋がピン！と伸びるのを感じます。また、学校の廊下には蝟梅（ろうばい）が香り、厳しい寒さの中にも少しづつ春の訪れを感じています。

さて、今年の節分は2月2日でした。私は幼い頃から「節分は2月3日」と教わってきた気がしますが、調べてみると、節分が2月3日以外の年があり、2021年が実に124年ぶりの2月2日節分、そこから4年ごとに2月2日節分となるようです。また、節分は「季節を分ける」という意味で、昔は立春・立夏・立秋・立冬の前日をすべて「節分」と呼んでいました。この季節の節目には邪気が入ると信じられ、「魔」を「滅」することから「豆」を撒くようになったとのこと。ちなみに、北海道や東北などでは、大豆の代わりに殻付きの落花生を撒くそうです。

鬼のお面をかぶって我が子に豆をぶつけられた遠い記憶が蘇ってきますが、節分の鬼は赤・青・黄・緑・黒の5色で、それぞれ意味があるそうです（赤=欲しがり鬼、青=怒りんぼ鬼、黄=わかがまま鬼、緑=なまけ鬼、黒=人のせい鬼）。2月の朝会では、「これら『心の鬼』は誰の心にも棲んでいる。新年に立てた今年の目標に向かって頑張ろうとする心が弱くなっている人は、鬼たちが出てきているのかもしれない。強い気持ちで『心の中の鬼退治』をして、それぞれの目標に向かって頑張ろう！」と子どもたちに話しました。



子どもたちが教室に戻ると、いつの間にか後ろのドアに、文字の形が左右対称で縁起が良いとされる「立春大吉」のお札が貼られていました。少し興奮気味に歓声を上げる子どもたち。その声を聞きながら職員室で一人微笑む用務員さんの額には、なぜかうっすらと汗が浮かんでいました。

今年度も残り1か月と少しですが、子どもたちがそれぞれの「心の中の鬼」を退治し、充実した生活を送れるよう、しっかり支えていきたいと思います。

交通安全作文の朗読

1月29日、真岡市民会館にて、真岡市市制施行70周年記念事業として「真岡市安全大会」が開催されました。その第一部の交通安全市民大会において、6年生の　さん　が二宮地区代表で交通安全作文を朗読しました。「交通事故をなくすために」と題して、交通事故を減らすために自身の経験から考えたことを発表しました。大勢の参加者の前での発表でしたが、とても立派な態度で、感情を込めて堂々と朗読することができました。大変素晴らしい発表でした。





子どもたちの活動の様子



1/21 5年 社会科見学



1/22 探鳥会



1/23 5年 ミシンの授業



1/23 学校保健委員会



1/24 3年 おなか元気教室



1/24 5年 親子ふれあい活動



1/28 防犯教室



1/28 4年 禁煙教室



1/29 2年「ぼく・わたしの誕生」



1/29 研究授業（5年国語）



1/31 研究授業（3年国語）



1/31 6年「生命誕生」



2/3 児童集会（縄跳び大会）



2/7 1年 親子ふれあい活動



2/7 2年 親子ふれあい活動



2/7 授業参観4年「2分の1成人式」



2/14 5年 夢の教室



2/17 3年 社会科見学